

I 方針策定にあたって

1 方針策定の趣旨・背景

- ✓ 平成26年1月「子どもの貧困対策推進法」施行、平成26年8月の「子供の貧困対策大綱」策定
 - ✓ 平成27年の東京都連携による実態調査実施
 - ✓ 平成29年3月に「日野市子どもの貧困対策に関する基本方針」策定
 - ✓ 令和4年10月に「第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針」策定
 - ✓ 令和7年3月に「ひのっ子若者みらいプラン」策定
- 少子高齢化の加速、人口構造の変化、また生活様式の多様化など、社会経済情勢が大きく変化する中、日野地域未来ビジョン2030と整合を図り、子どもの貧困対策を総合的に進めるための旗印として策定する。

2 方針の概要と位置づけ

本基本方針は、法、国、東京都の動向を踏まえながら、本市の最上位計画である「日野地域未来ビジョン2030」をはじめ、「ひのっ子若者みらいプラン(第1期日野市こども計画/第3期日野市こども・子育て支援事業計画)」や「日野市地域福祉計画(ともに支え合うまちプラン)」等の各種関連計画に考え方を反映していくもので、計画期間は令和9～11年度とする。対象は、幼児期、学童期及び思春期だけでなく、青年期(おおむね18歳以降からおおむね30歳未満まで)、施策によっては、40歳未満までのポスト青年期の者を対象とする。

3 近年の子どもを取り巻く社会状況と法制度改正

- こどもの貧困解消法へ改正(R6.6参議院本会議で可決、成立)
【法律名】「子どもの貧困対策推進法」から「こどもの貧困の解消に向けた対策推進法」に変更
… 教育、医療、福祉などの分野での支援強化や、家庭の経済状況改善を図るための施策を講じることが求められている。
- こども大綱(R5.12閣議決定) 根拠:こども基本法(R5.4施行)
- 改正児童福祉法(R4.6)【R5.4一部施行、R6.4施行】
- こどもの居場所づくりに関する指針 根拠:基本方針(R5.12答申)

4 方針の推進上の課題

- 毎年「日野市子どもの貧困対策進捗状況管理表」に基づき進捗管理しているものの、成果指標が毎年把握できないものが多く、施策・事業の効果測定が困難。
- 全128事業・施策と多くの事業で推進しており、直接的に貧困対策として位置付けるには困難な事業がでてきている。
上記内容を受け、貧困対策として効果的な成果を期待し、施策・事業と目標成果を論理的な結びつけたロジックモデルによる計画の策定を行う。(ロジックモデルとは、「施策の論理的な構造」を明らかにし、その質や内容を評価する手法)

II 現状と課題の把握

1 子どもの生活実態調査

- ✓ 生活困窮度が高いほど、高等教育課程への就学に困難を抱えている可能性がある。
- ✓ 生活困窮度が高いほど、小学校および中学校における子どもの授業の理解度が低い傾向がある。また、小学生では塾に通っている子どもの割合も相対的に低い状況である。
- ✓ 生活困窮度が高いほど、学校を楽しめないと感じる子どもの割合が高い傾向にある。
- ✓ 貧困層ほど保護者が子どもと過ごす十分な時間がとれていない傾向がみられる。
- ✓ 生活困窮度が高いほど子どもの自己肯定感が低い傾向がみられる。
- ✓ 事業や相談において、特に貧困層に高いニーズがみられるものがあるほか、利用したいのに利用できなかったと回答された事業・相談がみられる。
- ✓ ひとり親世帯(特に母親)の方が、ふたり親世帯に比べて生活困窮度が高い傾向がみられる。

○ 基本方針に反映すべき方向性

- ・就学支援や無料の学習支援を実施し、経済状況に関わらず適切な教育が受けられるよう支援する。
- ・適切な居場所の確保等により、生活状況に関わらず安心・安全かつ健やかに暮らせる環境づくりを行う。
- ・ひとり親世帯となった場合でも、生活や子育てに支障が出ないよう、しかるべき支援を行う。

2 学校・園、関係団体に対するアンケート・ヒアリング調査

- ✓ 保護者の経済的困窮(収入や就労の問題)が主な背景である。
- ✓ シングルペアレント家庭の多さ、あるいは両親家庭でも就労できない状況の一方、子育てに手をかけられない家庭が存在する。
- ✓ 心の病を抱えている保護者がいる家庭や、保護者が子どもの基本的なケアに課題を持つ家庭も。
- ✓ 人材確保に加えて、複雑な家庭問題への包括的な行政支援が求められている。
- ✓ 支援対象者の認知が不足しており、「支援が必要だ」と思える仕組みづくりが重要。
- ✓ 食事支援、居場所提供、継続的な学びと相談支援が挙げられる。
- ✓ 地域や行政、学校との連携を活用し、包括的な支援体制を構築する必要性。
- ✓ 安全な生活環境の確保、生活習慣や支援技能の整備、人材の確保。
- ✓ 保護者への啓発活動及び金銭管理に関する教育。
- ✓ 広報活動の多角化(町内会、口コミ、地域イベントを活用)。

3 児童館・支援施設における子ども本人へのヒアリング調査結果

○ 調査結果から導かれる重点課題

- ・子どもの遊び場や活動支援の充実:屋外・屋内施設のバランス、充実したスポーツ・自然体験の提供。
- ・心理的なサポート体制:相談しやすい環境づくり、大人との信頼関係構築。
- ・自己肯定感を高める施策:自分の良さを見つけられる場や機会の提供。
- 基本方針に反映すべき方向性
- ・遊び場の整備:児童館や公園、スポーツ施設における環境改善。Wifiや遊具の設置、トイレの清潔性向上に配慮。
- ・体験活動の強化:職業体験や自然活動、多様なスポーツなど選択肢の広い活動を企画。
- ・相談体制の確立:スクールカウンセラーや地域支援者を活用し、信頼できる相談窓口を確保。

調査結果を踏まえた 本基本方針のコンセプト

自尊感情が低下している人や社会的孤立者など支援を要する人に対して支援が確実に届くようにする。

- ひとり親家庭など家庭環境によって子どもの健やかな成長に影響を及ぼしていることから、子育て支援を包括的に行う。
- 親自身の養育スキルにより子どもの安心感への影響がでていることから、子どもが安心感を感じられる居場所を確保していく。関連して遊び場の充実や体験活動の強化等に取り組んでいく。
- 子どもと保護者の相談しやすい環境を整備していく。また、忙しい保護者・意識の薄い保護者に対して、情報が行き届く支援を行っていく。
- 行政・学校による家庭環境への関与に限界があることから関係機関・団体とスムーズな連携を図る。

日野市子どもの貧困対策に関する基本方針（体系案）

【目指すべき姿】

全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していける地域

【基本的な方向性】

1
子どもの遊び・学び・体験機会の提供と個々の学力向上に取り組みます

成果指標
自分肯定感が向上している
・自分にはよいところがあると思う割合

2
安心して生活できる環境を整え、生活習慣の改善を図ります

成果指標
安心して暮らしている
・安心して暮らしていると思う割合
心配ごとや悩みを相談できる人がいる
・心配ごとや悩みを相談できる人がいない、したくない子どもの割合

3
子ども・若者に係る経済的負担の軽減を図ります

成果指標
子育て環境に満足している
・日野市における子育て環境や支援への満足度

4
子育て家庭の悩みへの支援強化と生活の質の向上に取り組みます

成果指標
子育て環境に満足している
・日野市における子育て環境や支援への満足度

5
効果的に情報を発信し、支援ネットワークを強化します

成果指標
子育て環境に満足している
・日野市における子育て環境や支援への満足度

【方針】

(1) 学びの理解促進と個別最適な支援環境の充実

中間成果指標
学校の授業の理解が進んでいる
・学校の授業の理解（「あまりわからない」「ほとんどわからない」と答えた割合）

(2) 遊び・体験活動の充実による自己肯定感と成長機会の創出

中間成果指標
自分の将来について明るい希望がある
・生活保護世帯の高校等中退率／生活保護世帯の高校・大学等進学率

(1) 心身の健康を支える生活習慣づくり

中間成果指標
安心して暮らしている
・安心して暮らしていると思う割合

(2) 安心して生活ができる環境整備

中間成果指標
心配ごとや悩みを相談できる人がいる
・心配ごとや悩みを相談できる人がいない、したくない子どもの割合

(1) 家庭の自立と生活基盤の充実

中間成果指標
安定した生活ができている
・ひとり親の正規就業率

(2) 公的制度と支援サービスによる経済的負担の軽減

中間成果指標
安定した生活ができている
・電気、ガス、水道料金の未払い経験
・食料又は衣服が買えない経験

(1) 子育て力の向上と地域における支援の充実

中間成果指標
安心して暮らしている
・安心して暮らしていると思う割合

(2) 子育てを支える生活環境の充実

中間成果指標
安心して暮らしている
・安心して暮らしていると思う割合

(1) 情報提供の充実

中間成果指標
日野市子ども条例を知っている
・「日野市子ども条例」の認知度

(2) 子ども子育て支援ネットワークの充実

中間成果指標
子育て関連事業者・団体が参加・実施する活動や行事に多くの地域の住民住民が参加している
・子育て関連事業者・団体が参加・実施する活動や行事へ多くの地域住民の参加している割合

(3) 支援を要する子どもや家庭へのきめ細やかな対応

中間成果指標
ヤングケアラーという言葉を知っている
・「ヤングケアラー」という言葉と内容を知っている割合

【施策】

①生活環境に配慮した学習支援	放課後学習支援プログラム参加率／放課後学習指導満足度／家庭訪問実施率／インターネット環境提供率／「ほっとも」利用率
②学習環境（スペース）の提供	
②学習意欲の経済的な面からの支援	
①子どもたちの心を支える環境の充実	スクールソーシャルワーカーの配置率／「気になる情報提供」仕組み導入率
②遊びや社会体験、文化に触れる学習の提供	体験活動への参加率
①食習慣の改善、食事提供等の支援	食事無料提供の参加率／食育プログラム参加率／家庭での食育支援の実施率
②健診結果等による気づきと情報共有による支援	乳幼児・学校歯科健診結果の共有率
③生活習慣等の定期的な把握	子ども宅食事業利用率
①子どもと親が安心できる居場所環境の充実	中高生世代スペースや児童館等の居場所への参加率
②子どもと親の相談機能の充実	子ども・親向け相談件数対応率／児童虐待対応率
②若者等の生活に寄り添った就労支援の実施	就労支援員による支援率
①家庭の自立に向けた支援の充実	女性再就職支援利用率／家計管理相談支援利用率／就労支援員による支援率
①公的制度による適正な支援	就学援助制度利用率／中学校クラブ活動助成制度利用率／生理用品無償配布利用率
②公的制度、サービスの利用量等の減免拡充	
①子育てに関する親の精神的な不安の緩和	保護者向け講座参加率／民生委員・児童委員活動率／子育てパートナー事業の会員増加率／ファミリー・サポート・センター事業利用率
①安心して子育てができる環境の整備	ショートステイ・トワイライトステイ利用率増加／一時保育事業の利用率増加／乳児家庭訪問率／育児支援家庭訪問実施率／プレママ＆乳幼児健康相談参加率／保育施設待機児童解消率
②住宅支援の強化	日野市居住支援協議会・住宅セーフティネット相談事業による入居支援率
①全ての子どもに支援が届く情報発信と啓発	子ども包括支援センター「みらいく」認知度／貧困対策周知資料配布率／子ども条例啓発イベント参加率
①相談機能と連携体制の強化	
①地域活動を通じた連携体制の強化	居場所づくりに関心がある団体等の連携活動率
①支援を要する子どもや家庭の情報集約と連携	ヤングケアラーコーディネーター利用率／子どもオンブズパーソン利用率
②関係職員の気づきを促す研修の実施	貧困対策研修参加率

【進捗管理指標】 ※今後各課照会しながら精査予定